

基本健診(さんまる健診・国保特定健診・後期高齢者健診)では、全身状態がわかる検査を行い、**生活習慣病の原因となる芽がないかを確認します。**

生活習慣病とは、食習慣の乱れや身体活動不足、喫煙習慣などの不健康な生活習慣によって発症する病気の総称です。なかでも心臓病や脳卒中、糖尿病による合併症(網膜症や腎不全など)は、突然死や介護生活を余儀なくされる後遺症が出てしまうことがあります。

そのため、早期から予防や治療に取り組むことで大きな病気を防ぎ、元気で過ごせるようにするためにも特定健診を受けることが大切です。



特定健診の検査内容一覧

※★がついている検査内容は、メタボリックシンドロームの判定項目です。

健診項目	主な検査内容	どのようなことをみている？
身体計測 ・ 血圧測定	★腹囲・BMI(※体格指数)	内臓脂肪が過剰にたまっていないかどうか
	★血圧測定	高血圧の有無
血液検査 ・ 尿検査	★血中脂質(中性脂肪、HDL・LDLコレステロール)	脂質異常の有無
	★血糖(空腹時血糖、HbA1c)	高血糖(糖尿病)の有無
	肝機能(AST、ALT、γ-GTP)	脂肪肝や肝臓疾患の有無
	腎機能(クレアチニン、e-GFR、尿酸)、尿蛋白	腎臓のはたらきが悪くなっていないか
	尿糖	高血糖(糖尿病)の有無
	尿中ナトリウム・尿中クレアチニン	一日にどのくらい食塩をとっているか
詳細な検査 <small>(国保特定健診、 後期高齢者健診 のみ実施)</small>	貧血検査(血色素量、ヘマトクリット)	貧血の有無
	眼底検査	脳の血管の状態を推測(動脈硬化の有無)
	心電図検査	心臓疾患の有無



大きな病気を予防したり、早期発見をするためには、
健診を継続して受けることがとても大切！！